



地球にも人にもやさしい「暮らし」をデザインする設計・研究を行っています。昔ながらの「環境に負荷をかけない暮らしの工夫」に、少しのアイデアを足して、「将来の技術」を創り出すことを常に心がけています。

略歴

博士（工学）、一級建築士、樋口暮らし環境設計主宰、株式会社セイコーステラ取締役を兼務。有限会社長谷川敬アトリエにて建築家長谷川敬氏に師事し、伝統的構法による地産地消の家づくりを学びながら、環境工学分野の研究に取り組む。現在は、実務と研究の両面から、地球にも人にもやさしい暮らしについて探求している。

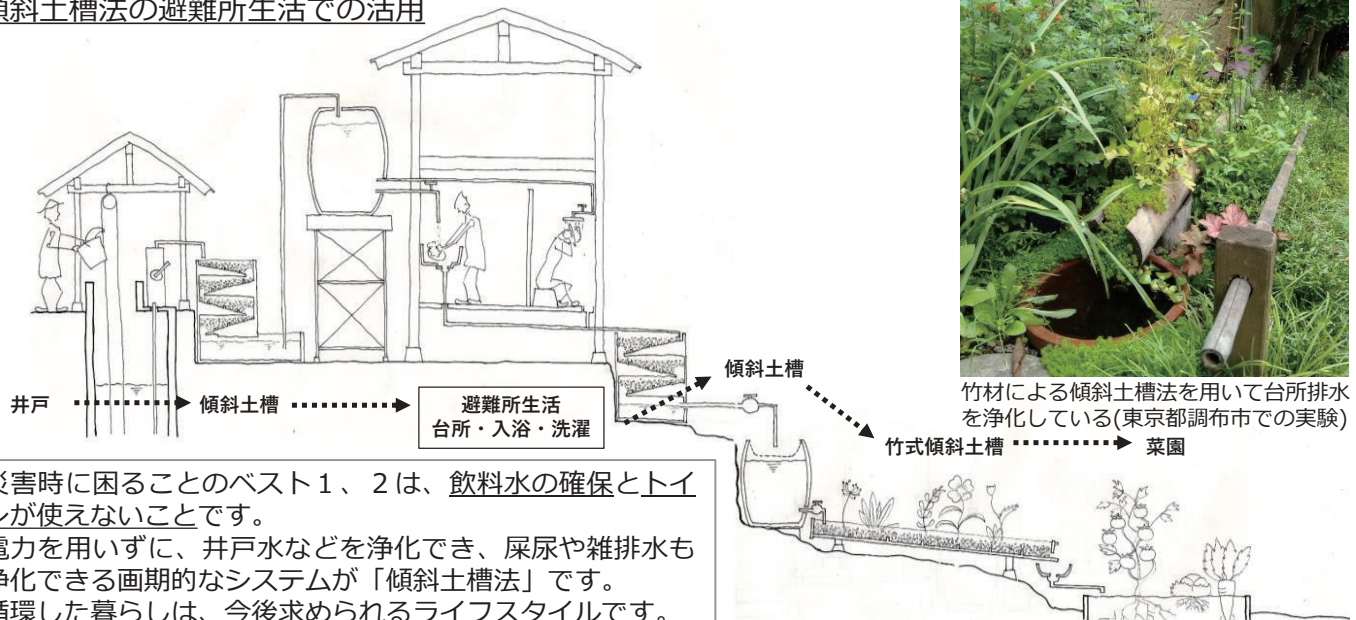
所属学会など

日本建築学会
空気調和・衛生工学会
日本太陽エネルギー学会
水環境学会
環境情報科学
NPO環境持続建築 理事

研究紹介

傾斜土槽法による災害時の避難生活を支える 上下水道オフグリッドに関する研究

傾斜土槽法の避難所生活での活用



災害時に困ることのベスト1、2は、飲料水の確保とトイレが使えないことです。

電力を用いずに、井戸水などを浄化でき、尿尿や雑排水も浄化できる画期的なシステムが「傾斜土槽法」です。循環した暮らしは、今後求められるライフスタイルです。

共同研究等

- 1) 余市エコビレッジにおける人工湿地法による生活排水浄化システムの検討（2016年～現在）NPO法人北海道Iビレッジ推進プロジェクトとの協働
- 2) 妹背山エコロジー計画（2014年～現在）和歌山県和歌山市和歌浦にあるあしべ屋妹背別荘の水利計画の検討
- 3) 都営住宅における単身高齢者の見守りに関する研究（2020年～）東京都との共同プロジェクト。電力量から都営住宅に住む単身高齢者の見守りをするシステムを共同開発している。

主な発表論文

- 1) 木村、樋口:マンホールトイレ用汚水糞物捕捉装置の開発、空気調和・衛生工学会論文集、No.325、pp.21-27、2024年4月
- 2) 樋口:災害時の備えと防災意識に関するアンケート調査、埼玉県幸手市における戸建て住宅を対象として、空気調和衛生工学会論文集、45巻、276号、pp.1-6、2020年3月
- 3) 樋口、生地:竹材を用いた傾斜土槽システムの開発および台所排水の浄化性能検証、第53回 日本水環境学会年会、p.45、2019年3月